

平成 28 年度第 1 回伊賀市健康づくり推進協議会 議事録

日 時：平成 28 年 6 月 23 日（木）午後 2 時～午後 3 時 45 分

場 所：ハイトピア 4 階 ミーティングルーム

出席委員：11 名 前田委員、竹澤委員、服部委員、桃谷委員、山下委員、土屋委員、上山委員、永田委員、山口委員、富山委員、山崎委員

欠席委員：5 名 田中委員、増田委員、松寄委員、福平委員、川端委員

事務局：健康福祉部長、健康推進課長、健康推進課副参事、健康推進課主任

協議内容

1. 委嘱状交付

2. あいさつ

3. 委員紹介

4. 会長・副会長の選任

会 長：竹澤委員

副会長：山下委員

5. 会長あいさつ

6. 協議事項

(1)健康 21（第 2 次）計画 平成 27 年度実績について

事務局 健康 21（第 2 次）計画調査シートに基づき（1）栄養と食生活について説明。

委 員 No. 27 いが忍にんプロジェクトについて、新規事業の健康測定会はどういった内容を予定していますか。

事務局 健康測定会は 4 回を予定しておりまして、その回ごとにテーマを決めています。第 1 回目はすでに開催したのですが、そのときは口腔をテーマにして、歯科衛生士さんに来ていただいて歯のことを取り上げました。その時々で興味を持ってもらえるテーマでやっていきたいと思っています。

委 員 8 月 20 日にイベントをやると思いますが、そういった場で測定会を行って参加してもらうのも良いのではないのでしょうか。

事務局 そうですね。

委員 No. 4 妊婦・乳幼児訪問、No. 17 家庭訪問など、評価がCになっていますが、これは行政側がベストな対応をしたけれども見込数に届かずC評価となっているということだと思っんですが。ベストな対応をしたのにC評価となるというのはどうかと思っんですが。

事務局 おっしゃるとおりで、相談が多ければ良いのか、少なければ良いのか、指標の設定の仕方に問題があるところもあるかと思っます。

健康というものの自体が数字で測れない部分が多いんですが、必要なケースに対して訪問しなかったというようなことはありません。いろいろなケースがあるなかで必要とされたケースが少なかったということです。

委員 実質的には、A評価やB評価でも良かったと思っます。

委員 No. 22 幼児教室を子育て包括支援センター事業に統合するとのことですが、全体の回数などはどうなりますか。減るんでしょうか。

事務局 子育て支援センターでは、いろいろなテーマでたくさんのメニューを持っています。健康推進課で幼児を対象に行っていた教室は1つです。今後、子育て支援センターの教室に健康推進課の保健師が参加していけるように調整しているところです。もしかしたら年間の開催回数は減るかもしれませんが、市として重複している事業については統合していきながら、新規事業を行っていきたいと考えています。

委員 No. 19 生活習慣病予防教室について、以前からこのくらいの参加率なんでしょう。

事務局 この事業は業者委託をしている事業で、平成 27 年度については開始時期が遅くなってしまったので、今年度は早くから取りかかりたいと思っます。平成 26 年度は 11 月には始められていたと思っます。健診を 7 月に受けられた方の結果が戻ってくるのが 9 月以降くらいになります。そうすると本来ですと 10 月には始められたら良いんですが。

委員 11 月くらいには始められた方が良いですね。健診を受けられてからすごく時間が経ってからというのもどうかと思っますので。

事務局 そのとおりだと思っます。

委員 No. 20 健康相談について、平成 24 年からだんだん減ってきているんですが、これは何か理由などあるのでしょうか。

事務局 出前講座のときに行う集団の健康相談が減っているというのがあると思っます。出前講座が減少しているので、それに伴って集団での健康相談の件数が減っています。窓口での健康相談や月に 1 回行っている健康相談は変わっていません。

委員 周知などはこれまでどおりやっているのですか。

事務局 しています。

委員 No.27 いが忍にんプロジェクトのマイレージについて、これはポイントを貯めたら全員が何かをもらえるということではないんですよ。

事務局 そのとおりです。マイレージについては、初めてのことで、目標を応募者数300人としていますが、正直なところ何人応募していただけるかもよくわからないところです。

委員 No.17 家庭訪問について、「訪問指導が必要なケースが少なかった」とありますが、訪問指導が必要なケースとは、何で判断するのですか。本人から電話相談があったとか、そういったことですか。

事務局 やはり、何も無いのにこちらから押しかけるというのはなかなか難しいところがあります。ご自身、ご家族、関係機関、他課からの連絡により訪問が必要と判断したものについて訪問しているところです。

事務局 (2) 身体活動・運動について説明。

委員 No.8 JR関西本線利用促進ウォーキングについて、目標の立て方を検討してはどうでしょうか。雨天でイベントが中止になったのに参加者0として実績数に入れてしまうとどうしても評価が低くなってしまいますので、雨天で中止の場合はその参加見込数を除いて、目標数を設定し直すとかそういった評価方法があっても良いのではないのでしょうか。

事務局 そうですね。

委員 JR関西本線については、40数年前から関西本線電化促進事業というものがありまして、奈良市など当時の関西本線沿線の市町村と国、県が行っている事業なんですけど、この利用促進ウォーキングは電化促進事業に参加されていますか。そういった事業に参加すると、ウォーキングの参加者も増えるのではないのでしょうか。

事務局 ありがとうございます。おそらく同盟会のようなものがあって、そういったところでPRなどは行っていると思います。広報でも、亀山市さん、甲賀市さんとお互いの市のPRをするコーナーを設けてPRは行っているところなんですけど、なかなか集まらないといったところもあるかと思います。

委員 つつじ祭ウォークなど、募集人数はどのくらいですか。

事務局 他課の事業で、募集人数までは調べていなかったのですが、実績からみると150人くらいずつを想定しているかと思われます。

事務局 (3) こころの健康・休養について説明。

委員 No.27 家族介護支援事業について、利用時間の制限などはありますか。

事務局 おそらく1日ではなく、一定の時間制限はあったと思います。

委員 事業所に勤めているんですが、これは1時間から1時間半くらいで、ご家族が病院に行ったり買い物に行ったりという間、話し相手になるため訪問しています。

- 委員 このサービスの利用にあたって利用者の負担はあるのでしょうか。
- 委員 おそらく 1,250 円の 1 割負担であったかと思います。
- 委員 No. 38 産後ケアについて、実績が「利用者がありませんでした。」となっていますが、この要因はどういったものですか。
- 事務局 産後ケア事業は新規事業ですので、母子手帳発行時に案内をしたり、市内の産婦人科に制度の説明とお願いをして周知を行いました。病院からは、「1 年この事業を実施してみて、そこまで必要ではなかった。」と聞いています。ただ、ニーズ自体はあると思うので、PR を続けながら制度自体は残していきたいと思っています。
- 委員 周知が足りないなど原因があったのかと思ひまして。
- 事務局 周知不足の面もあったと思います。
- 事務局 (4) 歯の健康について説明。
- 委員 No. 10 在宅要介護者歯科訪問健診事業について、要介護になる前にはどこかかかりつけの病院があったという場合が多いと思うので、介護認定のときにこの事業のパンフレットを渡せば受診者数が増えると思います。よろしく願いします。
- 事務局 ありがとうございます。
- 委員 No. 9 成人歯科健康診査、歯周疾患検診について、自分が対象であるとわかるような通知はしているのでしょうか。
- 事務局 年度当初に対象者には無料券をお送りしています。受診率は 8.6%にとどまっているんですが、歯周疾患検診の無料券を送ることで、成人歯科健診の受診率も上がってきています。相乗効果が出ているのかと思います。成人歯科健診については、歯周疾患検診を始める前から 500 円で健診をしていたんですが、受診者数が 80 人程度で少なかったんです。それが歯周疾患検診の無料クーポンを発行することで 500 円の健診の受診者数が 300 人と、4 倍くらいになっています。
- 委員 対象年齢が 70 歳までなのは何故ですか。
- 事務局 歯周疾患健診については、健康増進法という法律に基づいた事業で、国で 70 歳までと年齢が決まっているんです。
- 委員 70 歳以上は後期高齢者の歯周疾患検診があつて、それに引き継がれています。これも 70 歳、80 歳という特定の年齢ではありますが。
- 委員 成人歯科健診の受診率が上がらないのは、自分自身で歯の掃除であるとか自己健診に行かれている方が多いからかもしれませんね。
- 事務局 (5) たばこについて説明。
- 委員 伊賀市の市役所内ではどのくらいの方が喫煙しているのですか。けっこうな数の人が吸っているように思うのですが。

委員 市の当初予算でもたばこ税として5億5千万円程度予算計上されていて「吸ってください」という印象で、この推進協議会ではその逆のことを言っているの
で、不思議ですね。

委員 たばこ税は、前はもっと多かったのではないですか。

委員 だんだんと減ってきているんですが、最近は若年層での喫煙が増えている印象
ですね。

委員 吸う本数は減っても1本あたりの税金の額が上がってるんで、税額はそんなに
減っていないんでしょうね。

事務局 健康推進課としては、やはり健康づくりを推進していくことが重要ですので、
禁煙を勧めています。毎月22日は「禁煙デー」ということで、喫煙を自粛す
るように職員に一斉メールを送信するなどしています。なかなか禁煙というの
は難しいですが。

事務局 (6) アルコールについて説明。

委員 アルコール依存症というのは、どうやってケアしているのでしょうか。

事務局 アルコール依存の相談というのはあります。健康推進課だけでは関わりが難し
いので、福祉相談調整課でケース会議を開いて、それから訪問したり個別の相
談に乗ったりします。やはりアルコール依存は、ご本人にやめようと思ってい
ただかないことにはなかなか治療に向かいませんので、深刻な問題だと思いま
す。

委員 ご家族などが「何とかして」とおっしゃることもあるかと思うんですが、そう
いった場合は、病院を紹介したりするだけなんですか。

事務局 ケースワーカーに繋いだりもしていますし、同行訪問したりもしています。

委員 年間どれくらいのケースがありますか。

事務局 相談があるのは年間10件弱くらいかと思いますが、高齢者であれば介護高齢
福祉課、障害者であれば障がい福祉課であるとか、担当課がいろいろですので
合計は把握しきれないところがあります。

事務局 (7) 健康診査(二次予防)について説明。

委員 No. 8 特定健康診査・健康増進法健康診査・特定保健指導について、人間ド
ックを受診した方は、ここでいう受診者に入っていないのでしょうか。
ここで受診していないという計算に入っているけど、実際は人間ドックなどを受
けているということもあるのでしょうか。

事務局 No. 7が国民健康保険の人間ドックについてになるんですが、これを受けた
方は特定健診を受けていないと思います。

委員 わかりました。

委員 国保の特定健診の自己負担金が1,000円から500円になりますが、受診者は増
えるのでしょうか。

事務局 ぜひ増えて欲しいと思います。

事務局 (8) その他健康づくり関連事業について説明。

委員 No. 8 健康づくりイベントについて、健康の駅長が市内で 80 数名おられます。それぞれ活動もいろいろしていただいていますし、予算もいただいているので備品の購入もしたところ。8月20日にもイベントがありますので、たくさんの方にきていただいて健康測定を受けていただければと思っています。

(2)次期計画の作成について

事務局 伊賀市健康 21 計画の次期計画作成について内容説明。

委員 条例に定める事項なので、本来であれば次期計画を策定することになると思うんですが、これは条例改正をして次期計画は策定しないということですか。

事務局 そのとおりです。一定の手続きを経て条例改正については議会の承認をいただくという流れになります。

健康づくり推進条例のなかで、この協議会の所掌事務として計画策定を行い、健康づくりを推進していくとなっておりますので、時期計画を策定しないことについて、協議会の意見をお伺いしたいと考えています。

計画策定はしませんが、協議会では健康づくり推進事業に対する進捗管理であったり事業の評価を市民目線でいただきたいと思っています。

委員 わかりました。

委員 いろいろな計画があると複雑でわかりにくいところもあるかと思いますが、まとめられるところはまとめていった方がデータも取りやすいし、統合するのが良いかと思います。

事務局 健康 21 計画自体は策定しませんが、この計画の内容を第 2 次総合計画に盛り込んでいきますので、基本的にはほとんど変わりません。協議会に審議をお願いする内容についてもほとんど変わりません。ただ、現在の計画では同じ事業が項目ごとに重複して挙げられているのが、まとめることでわかりやすくなると思っています。

委員 健康 21 計画の冊子自体は全くなってしまうということですか。

事務局 そうですね。冊子自体はなくなります。国でも県でも同じような計画があっても、もちろん市独自の制度というのも一部あるんですが、大きな流れというものは国・県のものとの大きな違いはありません。そういったものを受けて、総合計画のなかに反映させていくということを考えています。

市として、いろいろな独自計画を総合計画に反映して統合していこうという考えをしておりますので、そういったこともあつてのことです。

委員 計画は総合計画に統合されていく。協議会は残す。評価シートは省略するとい

うことですか。

事務局 評価シート自体は省略しません。例えば、(1)の項目と(3)の項目と同じ事業が挙がっていたのをまとめるということです。同じ事業が重複して記載されているので、まとめる方がわかりやすいかと考えています。

事務局 資料2「総合計画における健康推進課分(案)」に基づき、総合計画への記載内容案を説明。

委員 これで、健康推進課で行う事業については評価できると思うんですが、他課で行う事業についてはこの協議会では評価しないということになるのでしょうか。

事務局 他課で行う事業についても事務事業評価などによって把握し、委員のみなさまにお示ししたいと考えています。

委員 計画を統合することで、今後、計画、資料ともにもっとわかりやすくなると考えて良いですか。

事務局 はい。そのとおりです。